

# Crossroads



## 《出願書類の下書きと提出について》

懇談会が終わった人から願書の下書きをします。社会科と総合②の授業の中でも話しましたが、予備の願書はありません。慌てて書いたり、片付け仕事のように書いたりすることがないように気を付けましょう。

## 【出願書類の確認】

出願書類（願書の形式・封筒・振込み用紙）は、受験する学校によって異なります。また、「学校案内」や「募集要項」などの冊子に願書や封筒が綴じ込まれている学校もあります。冊子から書類を取り出して記入しましょう。

受け取った書類の中に「調査書」「推薦書」というものが入っていたら、担任に渡してください。これがないと書類を作れないため、受験できなくなります。

## 【柔らかめの鉛筆で記入】

下書きは、柔らかめの鉛筆（Bか2B）を使い、薄く書くと良いと思います。硬い鉛筆やシャープペンシルを使った場合、清書の後に消しゴムで消しても書いた後が残ってしまうことがあります。

## 【各校の要項で確認】

「募集要項」などに示されている「記入上の注意」をよく読みましょう。A高校での書き方が、B高校では間違いとなる場合もあります。

## 【その他の注意事項】

- ・文字は楷書で丁寧に書くこと。その際、個人情報（現住所・保護者名など）を正確に記入すること。名前がひらがなの場合でも、全てにふりがなを書くこと。
- ・特に指示がない場合、「保護者の住所」には「志願者の欄に同じ」と書くこと。
- ・卒業見込は、「平成28年3月31日」。「日」がない場合は、「平成28年3月」とする。
- ・出身中学校名は「尾張旭市立東中学校」。
- ・性別や卒業見込など項目を選ぶ箇所は、該当する方を丁寧に丸で囲む。
- ・コード番号はほとんどが「1302」（ただし、例外もあるので各校のコード表で確認すること）。
- ・願書の日付は、「平成28年1月12日」とする。

## 《私の進路選択》

第8弾は、数学科担当の川口先生です。

みんなにとって受験をする目的は何ですか？

私は小学生の時に中学受験をしました。みんなにとって中学受験をする人のイメージは、「勉強が好きの人」かもしれません。たしかに、そういう人もいましたが、私は全くの正反対でした。小学生の時は勉強も嫌いで友達と遊んでばかりの日々を過ごしていました。そんな私がなぜ中学受験をしたのか？私は親の仕事の関係で石川県と富山県と愛知県の3つの小学校に通いました。そのおかげでいろんな場所に行くことができ、とても楽しかったですが、友達作りにもとても苦労しました。仲良くなったと思ったら、転校することが続いてしまい、それが中学校でも続くことを親から言われたときに、中学高校で同じ友達と過ごすことができる私立の学校に行きたいと思い、中学受験を決意しました。

私の場合は特殊な例かもしれませんが、“受験”は覚悟や目的がないと努力ができない過酷なものだと思います。「みんなが受験するから」とか「親に言われるから」とかでは、全力で取り組むことができずに、後々絶対に後悔するはずで。せっかく受験するなら、通いたい学校についてたくさん調べて、“なぜその学校に通いたいのか？”を明確にして、その目的のために努力をしてほしいと思います。

### おまけ

私は受験する学校について何も調べずに受かった学校に通いました。入学してみると、テストが毎朝あり、そのテストに受からないと（8割で合格）部活に行けないというルールがあることを初めて知りました。不合格の場合は、放課後に延々再テストがあり、とても苦労しました。今振り返ってみると、それが私にとって結果としては良かったのかもしれませんが、学生時代は何度やめたいと思ったことか……。こんな失敗をしないためにも、体験入学やHP、パンフレットなどを使ってしっかりと調べておきましょう！

